

【令和6年度入試（令和5年度実施分）】

解答例：

社会問題は多様な分野において生じており、持続可能な開発目標（SDGs）はこれらの課題に関連して策定されています。SDGsは17の目標と169のターゲットから構成され、貧困の撲滅、気候変動、環境保護、ジェンダー平等などが含まれています。これらの問題の解決は、単一の学問分野では困難であり、学際的な取り組みが不可欠と考えられます。

たとえば、気候変動の問題はSDGsの目標13「気候変動に具体的な対策を」に関連しています。気候変動は、地球温暖化の進行や異常気象の増加を引き起こし、生態系や人々の生活に深刻な影響を及ぼします。この問題を解決するためには、環境学、工学、経済学、政治学など、さまざまな分野の専門家が協力して対策を講じる必要があります。具体的には、再生可能エネルギーの技術開発や政策の立案、経済的なインセンティブの導入を通じて、温室効果ガスの削減を図ることが求められます。

また、ジェンダー平等の問題も深刻です。SDGsの目標5「ジェンダー平等を実現し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る」は、女性の権利や機会を向上させることに重点を置いています。この問題に対しては、法学、社会学、経済学、心理学などの学際的な視点からのアプローチが必要です。法的な整備や教育の普及、社会的な意識改革を通じて、男女平等の社会を築くことが求められています。

このように、SDGsに関連する問題を解決するためには、学際的な取り組みが不可欠です。異なる専門分野が連携し、知識と技術を結集して、持続可能な社会の実現を目指すことが求められています。